

大阪大学図書館報

Vol. 2 No. 6 Nov. 1968

指定図書を利用しましょう。

図書館では、このたび指定図書の制度を設けることとなり、既報の通り、その実施を急いでいたが、現在、本館では本年度分の大半が整理でき、1階開架室の指定図書コーナーに配架しているので、積極的に利用していただきたい。

指定図書は、教官が講義等に直接関連して必読すべきものとして指定した図書であり、本館では、文・法・経の3学部専門過程学生の指定図書を置いている。

1. 利用者 文・法・経の3・4年次学生および教官、図書は学部をこえて共通に利用できる。
3学部の教養課程学生も利用のないときに限り館内閲覧は可能。
2. 配架場所 1階カウンターの右側。
3. 利用方法 館内閲覧、3冊まで、午前9時—午後7時。（土曜日は午後3時まで）
オーバーナイト貸出、1冊、翌日午前10時40分までに返却。

この指定書制度は本館のみならず、中之島分館・工学部分館・薬学部分館・理学部図書室・基礎工学部図書室でも実施しているが、その利用についてはそれぞれの図書館（室）でおたずね下さい。

なお、この指定図書が学生諸君に大いに利用されるならば、図書館では、来年度以降もこの制度の継続はもちろん、予算増額要求をするつもりであり、また、二、三の学部では、学部経費を割いてこの制度を応援しようとしていることを付記する。

日米大学図書館会議

明年5月開催決定

最近、わが国においても、大学図書館の重要性の認識がとみに高まってきたが、1966年に東京で開催された「文化および教育の交流に関する第3回日米会議」の最終コミュニケにおいて、日米図書館職員の相互交流と研修および図書館資料の交換と収集についての相互協力などの時宜をえた具体的提案がおこなわれた。このような情勢のなかで、昨年初頭から、日本側は主として全国国立大学図書館長会議（本年から国立大学図書館協議会と改称）が、アメリカ図書館協会<ALA>と具体的意見を交換してきた結果、日米両国の大学図書館および研究図書館の発展を促し、かつ図書館相互ならびに書誌上の協力を推進することを目的として、第1回日米大学図書館会議を明年開催することが、このほど開かれた第1回組織委員会で正式に決定した。これはわが国の大学図書館の発展に多大の寄与をするものと期待されている。また宮地館長は、その組織委員会副委員長と企画委員会委員長の重責を果す予定である。なおこの会議について特筆すべきことは、図書館長や図書館専門職員の集まりだけでなく、議題によっては、大学設立者である文部省（国立）、地方自治体（公立）および学校法人（私立）の責任者、大学の管理運営の責任者である学長、また場合によっては教育責任者である学部長などと図書館関係者との合同会議への参加要請が強く出されたことであろう。そのことは、新制大学における教育と研究にとって極めて重要な機関である筈の大学図書館の近代化の問題は、もはや単に館長以下図書館関係者だけの問題ではなくなっていることを意味している。

会議の概要

- (1) 会議の名称
 - 和文名 第1回日米大学図書館会議
 - 英文名 The 1st Japan-U.S. Conference on Libraries and Information Science in Higher Education
- (2) 日時および場所
 - 1969年5月16日(金)～19日(月) 東京プリンスホテル(予定)
- (3) 会議計画
 - (イ) 会議の主催・運営
 - 国立大学図書館協議会、公立大学図書館協議会および私立大学図書館協会の合同主催で、組織委員会および実行委員会を設けて運営する。
 - (ロ) 参加者
 - 米国側 約20人 日本側 約200人
 - (ハ) 議題
 - I 大学教育における大学図書館の役割および利用
 - II 図書館の専門教育および人物交流
 - III 資料の収集および交換
 - IV 協会、センターおよび奉仕活動
 - V 図書館活動の機械化
 - VI 大学図書館の発展と政府および財団の役割

図書選択用ファイル整備

書誌、書店カタログ、新聞クリップ（本館）

図書館が図書を選択する場合はもちろん、教官が教養図書などを推せんする場合、更に推せんされたリストの記入事項を点検する場合に必要なインフォメーションを含んだ資料の重要性はいうまでもない。従来この面が日常業務の忙しさのため看過されてきたようであるが、事務簡素化による余力を割いてこのたびこれらの資料のファイルをはじめたので利用していただきたい。場所は本館1階受入掛。選択資料にもいろいろあるので、次に列挙して解説する。

出版年鑑

前年中に刊行された新刊および重刊書のほか雑誌リストを収載して、日本十進分類法により主題別に配列し、著者名・書名各索引が付いている。更に出版関係の諸統計、出版社リストも付いている。この年鑑は、同じく出版ニュース社刊行の「出版ニュース」の「新刊分類旬報」を集めたものである。

C B I Cumulative book index

H. W. Wilson 社から出版されている英語で書かれた図書の販売書誌で、7、8、12月を除く毎月刊。著者、書名、件名、叢書名のいづれからでも検索できるよう配列されている。2年毎に累積巻が出る。

出版社・書店カタログ

洋書は、国別に大別し、その中を出版社名のABCに配列してファイリングキャビネットに収めている。和書は、出版社名のABC順であるが、岩波書店「図書」、丸善「学燈」、有斐閣「書斎の窓」、創文社「創文」などは逐次刊行物として別置している。

新聞広告クリッピング

以上はいづれも記事内容が遅れるので、その間の穴埋めとして新聞広告は見逃がせない。とりあえず朝日新聞広告欄から、雑誌および娯楽性の強いものを除いたものの中から、教養図書、指定図書として適当と思われるものを選んで切り抜き、台紙に貼り付けて分類別にファイルしている。

このほか、選択資料として新聞・週刊紙の書評・雑誌の参考文献などを収集すべきであるが、いづれも将来の課題である。

新聞分担保存第2報（経済誌）

43.10.25（金）2—5.30 p.m. 於関西大学専門図書館会議室
出席館・大阪府大、大阪市大、関西大、大阪外大、京都大、大阪経大、大阪大

前号既報のとおり、今回は外国新聞の分担保存紙の枠を拡げると同時に参加館の地域も拡大することとして、京大、大経大も参加して開かれた。

① 外国新聞は前回決定されたものの外に次の経済新聞を含めて考えることになった。

「The Wall Street Journal (USA)」 「The Financial Times (England)」を関西大、大経大の2館でいずれか一方を、この他、中国の「人民日報」を大経大が分担することになると思われる。

② 上の分担が確定した時、前回までの決定分と合せて、参加館間で「分担協定書」を取り交すことになりその文案が大市大より提案されたが、その骨子は、分担紙とその相互利用の確認である。

業務機械化に関する委員会

画一的方式は無理

前号既報のとおり、近畿地区国公立大学図書館協議会の専門委員会として発足したこの委員会は、その後3回会合がもたれ討議が進められているが、各大学に共通な機械化の方式を求めようという当初の期待は難しそうである。

第2回委員会は神戸大学で(8月26日)、第3回委員会は大阪市立大学で(10月30日)それぞれ開かれ、神大経営分析文献センターで実際に行なわれているテープ穿孔タイプライター(フレクソライター)を中心とした目録作業と、マークカード検索機(タナック)の図書館業務への導入の可能性などについて阪大および神大より報告がなされ討論に入ったが、いずれもどの図書館でも有効であるという統一見解には至らなかった。これらは図書館業務の主流を機械化できるものではなく、部分的または周辺の合理化の道具としては利用価値は十分あり得ると見られた。同時に小樽商科大学で実際に行なわれているパンチカードによる受入から貸出までの一貫した機械化業務も紹介されたが、各大学にあてはめてみた場合の問題点が指摘された。

「機械化」と一言で言っても、各大学の図書館の規模・組織・仕事の相違などによって画一的にある方式が設定されるとは言えない悩みがある。機械化の実現には各大学の仕事の標準化・規格化が進まなければならないし、またそれより大切なことはそれぞれの図書館がその業務の改善・合理化への方向を見定めて、自らに最も適応した方式を開発する積極的な意欲が前提であろう。

アメリカ図書館協会代表を囲む昼食会・講演会

Foster E. Mohrhardt (前アメリカ図書館協会会長)、鈴木幸久(ミシガン大学アジア図書館長)両氏を迎えての昼食会が、9月13日(金)11時半から、中之島分館で開かれ、当館から宮地館長、中野部長、藤井課長が出席し、地区各館の代表者およびアメリカ文化センター関係者ら20数名とともに、なごやかな雰囲気のうちに進んだ。次いで午後1時から4時まで、松下会館4階講堂で、近畿地区国公立大学図書館協議会主催のもとに、近畿地区国公立各大学図書館の館長、事務長クラス60名を集めて両氏による講演会が開かれた。

主なテーマは、MARC (Machine-Readable Catalog) 計画の進捗状況、日米大学図書館会議開催計画、Council on Library Resources (アメリカの図書館財団)の活動、国内国公立大学図書館の連合組織の設立など、内外の重要問題が話され、活撥な質疑応答や意見の交換があった。

——理学部図書委員会——第8回——

43.9.28(土) 10.30 a.m.—12.30 p.m. 於 会議室

①参考図書の購入 参考図書費未使用額について協議, 参考図書の領域からははずれるが, 当図書室には Proceedings 類が物理の1部を除いて殆んど所蔵されていないので, 本年度はとりあえず未使用額をそれらの購入費にあてる。今後これらのものを充実させる必要があるので来年度予算要求の要求項目に検討を加える。その他継続刊行物 Structure Reports 等の購入について協議 ②44年度外国雑誌の購入 a 現在図書室で受入れている雑誌は全て Sea Mail で購入しており, そのうち速報誌的なものだけでも Air Mail で購入する案が提出され, これについては各学科毎に検討する b Chem. Abst. Coll. Index を附属図書館より特殊図書費で要求しており, その後の経過と, 経費の裏付けについて協議, 特殊図書費の結果がわかり次第改めて協議する ③理学部・薬学部・基礎工学部図書室利用内規の1部改正 図書係設置の規程化 ④図書貸出期間の1部改正 Advances 等年刊類の貸出期間を現行の3日間(雑誌扱い)から単行書扱いの7—13日間に改める。配架は従来通り雑誌の所へ配架する。9月30日実施。

——基礎工学部図書委員会——

43.9.30(月) 2.00—4.30 p.m. 於 中会議室

①44年度外国雑誌の購入 中央経費による外国雑誌の購入方法について, 42.2.8委員会決定事項の経過を報告, 確認, ついで44年度分について新設講座の生物工学科の要求分を含めて協議, 生物工学科の要求3点その他9点を新規購入することになった, また, 来年度より新規購入希望を出す場合の選択基準等について協議, 決定した。 ②理学部・基礎工学部図書室利用内規の1部改正。

英国図書展示会 英国大使館文化部, 附属図書館中之島分館共催による英国図書展示会が11月11・12日の2日間, 10時から16時まで中之島分館5階視聴覚室で開かれる。展示図書は大学および研究機関向きに選ばれた有機化学関係の新刊専門図書約150冊である。なおこの展示会は18・19日の両日理学部図書室でも開催される。

☆☆☆ 分館めぐり (4) ☆☆☆

——基礎工学部図書室——

基礎工学部は理学と工学の融合を旨とし、理・工両学部と密接な関係を保ちつつ、とくに境界領域の開拓を重んじ、科学・技術の飛躍的發展を期するために、昭和36年4月、我国で始めて誕生した新しい学部である。学部創設時は、本館整理掛の管理下で書庫の中に基礎工学部図書のコーナーが設けられていたが、建物の整備と学生の学部進学にともなって昭和39年8月に基礎工学部構内に図書室を設け現在にいたっている。

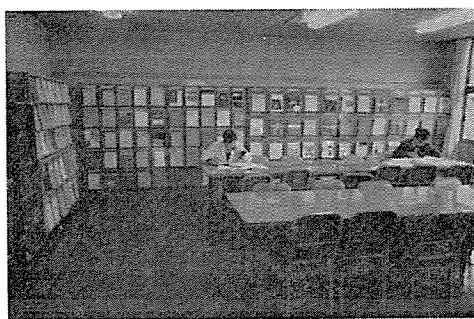
この図書室はB棟即ち講義棟の一階にあり冷暖房の設備がほどこされ、図書室の規模は右の表の通り構成されており、特別閲覧室には新着欧文雑誌を展示している、書庫内の図書資料の配架は、単行本は和洋別々に、雑誌は主題に関係なく誌名のABC順で配架している。参考図書、抄録誌の類も書庫内に配架しているが、これらの資料を利用するには、書庫内のキャレルでは十分な広さがなく、利用者に不便をかけているので、今後改善しなければならない問題の1つである。

図書室の利用面では、豊中地区自然科学系図書室である理学部、薬学部の3学部図書室の協定により、共通に利用できる制度になっている。

当室で図書資料の中心は雑誌で、昭和39年図書室の設置と同時に、それまで各研究室で分散管理されていたものを集中管理することで出発し、現在では研究室で若干の雑誌を購入しているが、基本方針は変わらず、毎年新しく刊行される各分野の雑誌についても、集中管理の方針のもとに、中央経費で購入するようつとめている。基礎工学という分野の性格上、購入する雑誌も広い分野にわたり、現在購入している約400種の雑誌のほとんどが、1962年以後のものなので、ぼつぼつ他学部からの複写依頼がくるようになってきたが、やはり現状では、理・工学部への依存度は高い。したがって、特に工学部とは地理的な関係からもXerox等による複写サービスの開始が待たれる。

当室の大きな特徴は、研究者よりも学部学生の利用が非常に多いことで、これは図書室が講義棟の中にあるという地理的な条件と、学生の希望を大中にとり入れ、開設当初より力を入れ収集した学生用参考図書の蔵書構成に負う面が大きいと考へられる。反面研究者には図書室と研究棟が離れているのも問題としてあげられる。

来年には新しく増設された生物工学科の学生が進学し、利用者も、資料も加速度的に増加の様相を呈してくるので、今以上に利用しやすい図書室に育てあげたいと念願している。



面 積			座 席 数	
閲覧室	書 庫	事務室	閲覧室	書 庫
216m ²	163m ²	24m ²	135	8

